インターンを終えて

熊本学園大学　社会福祉学部　１年　上野真鳥

約１か月間、岩田議員のもとでインターン活動をできたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

私が岩田議員のもとで活動をしたいと思った理由は、教育・福祉関連の現場を政治の立場から見る機会になると考え、また議員さんの考えに触れたいと思ったからです。将来保育業界で働きたいと考えている私にとって、人に向き合う職種の改善に力を入れておられる岩田議員はとても魅力的です。

岩田議員は初めてお会いしたときから暖かく受け入れてくださり、活動を重ねるごとにとてもお話ししやすい学校の先生に近い感覚になりました。やはり、元教師である岩田議員の姿があってこそのことだと思います。今は活動が終わってしまうことを心から寂しく思っております。

１か月間のインターンで、特に学んだことは「議員さんのお仕事はジャンルが様々であること」と「想像以上に政治家は私たちにとって身近な存在であること」の２つです。

岩田議員のお仕事に何度もお邪魔しました。私が想像していた議員さんの仕事は、議会や政府へ要望するための根拠をまとめた資料等を作成することばかりだと思っていました。しかし、議員さんは自ら足を運び、活動をした後は報告会の場で発表したり、講演会に参加する側だったり、議員向けの勉強会など、仕事は様々にあることを初めて知りました。議員が主体的に活動するものに限らず、受け身側としてお話を聞くことも多くあることに驚きました。

どこか別世界で生きておられるように感じていた政治家ですが、熊本県議の５人の女性議員さんのお話を伺ったときにとても親近感が湧きました。なぜなら、初めから政治家を目指していたのではなく、元は別の業界で活躍されていた方ばかりだったからです。「このままの日本ではいけない」と何かをきっかけに強く思った方々が政治家になられているのかと思うと、遠い存在に感じていた政治家を身近に感じるようになりました。最近は政治家に対する不信感等から政治に関心を持たない人が増えています。インターンに参加する前までの私もその一人でした。しかし、岩田議員のような私たちの若い人が直接関わるような課題（教育現場の問題）を含め、「県民・国民のために」と真剣に向き合い、改善されようとしている議員さんが確かにいるということを、この一か月間で身に染みて感じました。考えてみれば、議員さんに対して知ろうともしないままに自分から政治を遠ざけていたように思います。

「無知であることが一番恐ろしいことである。」インターン活動を通して何度も痛感させられました。まずは何事も調べて理解しようと努力することを心掛け日々を過ごしていきます。岩田議員、１か月という貴重な時間を本当にありがとうございました。